

令和 7 年度一般選抜入試

『公共』出題意図

「公民」の教科書の内容に準拠し、現代社会や公共に関する基礎的な知識の学習度合いを確認することを目的としている。問題は大問 3 題、大問ごとに 10 問を設定し、全 30 問からなる。大問Ⅰと大問Ⅱでは、現代社会や公共にかかわる出来事について記述した独自のリード文や新聞の社説、年表などを提示し、下線を記した語句に関する正誤選択問題や空欄穴埋め問題を出題している。大問Ⅲでは、一問一答形式で教科書の基礎的な内容を幅広く問うている。なお、大問Ⅰでは主に経済や金融に関する題材を、大問Ⅱでは主に政治や法律に関わる題材を取り上げることが多い。令和 7 年度は、改正民法の施行による成年年齢の引き上げ、日本経済が直面する課題、創設 75 年を迎えた NATO の課題などをテーマとする新聞社説のほか、ロシアによるウクライナ侵攻にかかわる国際情勢の遍歴を年表形式で出題している。